



明日の保育につなげるⅡ

— 動画を活用した研修の提案 —

DVD 活用ガイド

本書の活用にあたって

本書は、DVD「明日の保育につなげるⅡ—動画を活用した研修の提案—」をより有効に活用していただくためのものです。幼児教育の質向上を目指すための手立てとして『幼児理解を深める』『教師の援助について考える』『環境の構成を工夫する』といった視点は重要です。また自身の保育をさらにレベルアップするために『園内研修』や『記録の書き方』も大切です。DVDにはこれらのことを考えるきっかけとなるような動画がたくさん収められています。動画を見ながら話し合ったり、考えを深めたりすることで、明日からの保育に活かせる部分を見出していただけられるものと思います。動画はどれも10分程度のコンパクトなつくりとなっています。まずは動画を見てみてください。そして思ったことを語り合い、日々の実践をよりよく、楽しいものにしていきましょう。

なお、本書の中にある「幼児の体験の捉え 2020」「評価表 2020」「評価シート 2020」は2020年度文部科学省委託研究「幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究」において国立大学法人東京学芸大学附属幼稚園が作成したものを使用しています。

国立大学法人 三重大学教育学部附属幼稚園

協力：東海北信越地区国立大学附属幼稚園
全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

保育の中にこそ 保育者として

紙に書いてある
文章を読んでも
保育のイメージがわからない…

幼児にどのように
関わったらよいか
イメージがわからない…

実際に
保育の様子を映像で見ると
子供の様子や先生の関わりが
見えてきた



* 次ページから研修内容が
掲載されています。
園のニーズに応じて
活用しましょう。

の学びがある

映像を見て、
研修しよう！

『この研修動画を活用し、
保育者の専門性を高めよう！』

名古屋学芸大学 津金 美智子



幼児期の教育内容の質の向上を図るには、その担い手である保育者自身の専門性の向上が求められる。その核にあるのが幼児理解である。幼児一人一人の表情、しぐさ、視線、言葉、行動等に潜む思いや考えを受容し、一見何をしているのかわからないような遊びや体験の中こそ、深い意味がこめられていることを認識する必要がある。

保育者は、この幼児理解を出発点に、幼児期の学びを深める手がかりを探り、環境の構成や保育者の援助を工夫し、実践後に、再度、幼児理解の視点から評価し、指導の在り方を改善するという循環を繰り返し、各園の教育活動の質の向上を図ることが重要である。この保育者の専門性を高める上で、参考になるのが、この研修動画である。

【この動画を視聴する際のポイント】

-  保育者の感性を働かせて、一瞬の幼児の姿にも目を向け、耳を傾け、感じてみよう。
-  どのように理解したか、保育者自身の言葉で、幼児の姿を根拠にして語ってみよう。
-  この動画に切り取られた幼児の姿にこめた保育者の思いや意図にも心を馳せてみよう。
-  共に動画を視聴する保育者同士で、幼児の育ちや学びを共有し、多面的に理解しよう。
-  保育者が予想した幼児の思いと実際の活動とが異なったとしても、保育を振り返り見直す大事な視点となると受け止めよう。
-  「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」は、**幼児に資質・能力が育まれていく過程で見られる生活の姿を総合的に示したものである**であり、同時に、資質・能力を育む保育者や大人が、教育上の思いや願いを照らし合わせながら、一人一人の幼児の様子を見定めていくことを通じて、幼児の学びや生活の質を捉え、資質・能力がどのように育ってきているかを見出し、**幼児の実態に沿って主体的・対話的で深い学びの充実を図れるようにするために必要な手掛かりとして活かすことができるもの**。
ここで示されている姿は**架け橋期はもとより、その前の時期、さらにその後の学びのプロセスの基盤となります**。

研修動画を活用し、園内研修を深め、保育者の教育・保育の質の深さを担う力を高め合いたいものである。